

鶉地区の誇り

偉人がつなぐ地域の輪「鶉」

杉田定一先生は、明治・大正の頃、政治の正しいあり方を求め国政や郷土の発展に自分の財産を投げ出して一生を捧げた、鶉の里で最も尊敬されている人物である。

衆議院議員として北海道長官、衆議院議長など国政の場で活躍されただけでなく、農民のために地租改正の再調査や九頭竜・足羽・日野川の改修や金津・三国間の鉄道の建設など郷土の発展に尽くされた。

杉田鶉山遺徳顕彰会・鶉山会の皆さんを中心に、後世に先生の業績やふるさとを愛する心を称え伝えるために、昭和60年に鶉公民館前庭に銅像を建立した。



旧鶉村の住人が明治時代に同町に移住し、開拓した上砂川町との交流は、これからの地区を担う小中学生の交流へと発展してきた。毎年相互に訪問し、交流を深めることは、自分たちの郷土の良さを再認識することにもつながっている。

8月に住民総力の「鶉の里夏祭り」が行われている。従来の「鶉山祭り」を2007年に改名し、地区有志の実行委員会が企画・運営する。祭り最大の特徴は、越前和紙を使った七夕飾り。ステージ・屋台で盛り上がる会場を華やかに熱く彩る。



鶉の里づくり委員会 副会長 吉田 正人さん

副会長の吉田さんは、事業の一つ「青少年育成」について「近年若い芽が出てきてくれました。3年前から1月に開催の「新成人の集い」。企画・運営・実行の全てで力を発揮する若者達。発想力・行動力で将来地区での活躍が期待できます」と話す。

鶉公民館

住 所／福井市砂子坂町5-58
電 話／0776-83-0433
交通機関／京福バス「砂子坂」バス停
から徒歩7分